

Rotary International District 2630 2020-2021

ガバナー



Governor's Monthly Letter

Rotary



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー 第2630地区

2020-2021年度 ガバナー 剣田 廣喜

ガバナー事務所

〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合 本町サテライト出張所 3階

TEL 0577-32-2630 FAX 0577-36-1488 URL <https://www.rid2630.jp/> E-mail 2021@rid2630.jp



高山市街から見える 夕日に染まる乗鞍岳

Contents

- 剣田ガバナーメッセージ
- 活動事業報告 岐阜加納RC 「献血活動・感染予防対策活動」
- 研修部門委員長 田山雅敏 パストガバナー メッセージ
- 第2630地区 会員数報告
- コロナ禍でのクラブ運営
- 第2630地区 会員動静報告
- 活動事業報告 青年交換委員会 秋期研修旅行
- コーディネーターニュース 12月 Vol.1, Vol.2
- 活動事業報告 多治見西RC 「世界ポリオデー街頭募金」

12

December 2020 Vol.6

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





デジタル時代のロータリー

2020-21年度
RI第2630地区ガバナー

劔田 廣喜 (高山中央RC)

4年前のガバナー月信冒頭の挨拶文です。「ガバナー就任からはや半年になろうとしております。地区最大の行事であります『2016～17第2630地区大会』が2016年10月22～23日・高山にて行われました。RI会長代理に櫻井権司ご夫妻にご来訪いただき、また国島高山市長、第2630地区や他地区からも多数のご来賓をいただき盛大に開催できました。当地区内全てのロータリアンのご支援、ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

又、7月から、最も重要なプログラム『77クラブへの公式訪問』をさせていただきました。各クラブ会長をはじめ皆様の心暖まる歓迎と激励、ご指導をいただき、すべての日程を終了する事が出来ました。特にガバナー補佐の皆様には各グループにおいて素晴らしいリーダーシップを発揮していただき感謝申し上げます。」

この事が当たり前と考えてきたのに、新型コロナウイルスの感染拡大によって今までの「当たり前」が「当たり前」ではなくなり、多くのことに気付かされました。

会いたい人たちに会えない、行きたいところに行けない、やりたいことが思いっきりできない、今までできていたこと、当たり前にしてきたことができなくなってしまいました。

コロナ禍の根元は、単に外出できないことではなく「当たり前が当たり前じゃなくなったストレスや恐怖」からきていると思っています。そんな中、ロータリアンは例会のありがたみ、会員同士の何気ない話の必要性に気付いた事と思います。

ロータリーは人と人とのつながりを礎としています。しかし、新型コロナウイルスの影響で例会や行事ができない、親睦や奉仕の活動ができない現状にあります。RIはzoom会議、ビデオメッセージ、ソーシャルメディア等の、オンラインを通じてさまざまな方法でロータリーに参加し続ける事を推奨しています。

2630地区でも合同公式訪問・GTM/地区

委員会・クラブ例会などWEB会議にチャレンジしております。

利点として、交通費と移動時間が削減できる・低コストで運用できる・会議資料の準備が容易にできる・意思決定のスピードが上がる・若い会員が主役になる、ロータリーに積極的になる、などがあります。

しかし、慣れないせいもあると思いますが、WEB会議は、どうしても画質が粗かったりタイムラグが発生したりと、直接お会いするのは違ってしまいます。画面(資料)を共有していると相手の顔や表情は見づらくなり、自分が話している内容を理解してもらえているのか、納得してもらえているのか、といった雰囲気をつかむことが難しいです。RI会長も『デジタル時代に完全に適応した団体にならなくてはなりません』と言われておられますがデジタル化はプロセスを省きます。

ネットに頼るよりも実際の見学・会話・体験が大切だと思うのです。便利な時代だからこそ苦労を惜しまず行動しなければ本物の経験や智慧を得ることはできないのです。富士山に登らず富士山を語ることはできません。

今年はリモートが流行りですが、画面から得られる情報や感動というものは、眼前で得られるものには及びません。人間は面倒だと思うようになると何もできなくなります。こういう時代だからこそ本物を求めようとする意欲と行動が求められます。空腹で食べる食事が最高であるのと同じように、苦労して得たものが本物なのです。中身よりも過程が大切なのです。

結果を求めて過程を省こうとするのが現代の特徴です。インスタントがあたりまえとなり、何事も簡単に得ようとしめます。しかし、大切なものほど手間と時間がかかるのです。信頼関係、技術、人間性など簡単に得られないもののほうが多いのです。一生をかけて求めようとする姿勢で、デジタルとリアルのバランスを考え着実に歩んでいきたいものです。



『これからのロータリーを考えよう』

2020-21年度 RI第2630地区パストガバナー
地区研修部門委員会委員長

田山 雅敏（上野東RC）

コロナ禍ですっかり世の中変わってしまいました。本来徐々に変化することが、この1年であつという間に変わりました。もう後戻りはできません。

おそらくロータリーの在り方も、変わりたくなくても変わっていくでしょう。元々コロナ禍の前からロータリーは変貌しつつありましたが、ここへきて世界のロータリーは更に新しいロータリーへと変わっていくでしょう。もう良き時代のロータリーばかり語ってはついていけなくなってしまうかも知れませんね。

私達ベテランやある程度ロータリー年数を経た会員は、それなりに御自身のロータリー観を持っているし、あまり動じることはありませんが、新会員の皆さんは今年春に大学に入った新入生と同じで、例会(授業)もなくテレワークコミュニケーションで1年が過ぎようとしています。折角大学に入ったのに友人もつくれなく、素晴らしい先生の生の話も聞けない。これは新会員も似ていますよね。折角ロータリーに入ったが素晴らしい先輩諸兄とゆっくり話すこともできない。コロナが落ち着いたなら、若い会員とのコミュニケーションはクラブではとても大切ですね。各クラブの研修リーダーが率先してロータリーを伝える必要があります。新会員も積極的にロータリーを知ろうとする気概が必要ですね。来年はいい年になることを祈念しています。5月に高山で地区大会が盛大に行われ、6月には台北で世界大会が開かれ、7～8月にオリパラが順調に行われ、9～10月に三重国体で無事終わるというシナリオです。無論並行

して浦田(GE)丸は順風満帆な航海の真っ只中にいることを祈っています。

話は変わりますが、私がガバナーの時からずっと気にしていたことが1つあります。

三重で女性会員が10月の月信を見て100人をやっとなりました。とても嬉しく思っています。どんどん今、女性の経営者が増えつつある時代です。まずは女性会員の獲得に各クラブ頑張りましょう。今ご存知だと思いますが、女性の役員がいる企業は総じていい決算をしているということ…。上場企業に於いては如実に表れています。

主要先進国では、上場企業のみならず中堅中小企業でも女性の役員が約3分の1の割合を占めています。日本ではご存知の通り未だ1割にもいっていません。然し乍ら、ここ数年は相当の勢いで増えつつあり、女性登用は今や将来を見据えた国策でもあります。世界のガバナーも女性登用が目立つようになってきています。我が2630地区は、中小企業の女性社長の割合が極端に少ないエリアがあります。全国平均の半分以下で、従いロータリアンの女性会員も少ないという状況かと想像してしまいます。徐々に出来ることから努めていきましょう。そして、女性会員の先進クラブを参考にしつつ、より開かれた、地域に密着したクラブを目指していきましょう。

某日系航空会社は「ladies and gentlemen」というアナウンスをこれから辞めて、「all passengers」と呼ぶそうです。LGBTQの影響もあるでしょうが、世の中コロナ禍以降この傾向はどんどん強まっていくことと思います。

コロナ禍のクラブ運営について

会長
杉山 誠（尾鷲RC）



2020～2021年度尾鷲ロータリークラブは7月1日の新旧交代式よりスタートしました。クラブの基本方針である例会を充実させて行くこと、そして会員の皆さんがワクワクするような例会を行っていかうという熱い思いで毎週水曜日の例会を開催しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大を受けて残念ながら、7月29日より、8月12日の4回の例会を余儀なく休会にせざるを得ない状況となりました。その後、少し感染拡大が落ち着いた中で以下の尾鷲ロータリークラブ「感染拡大防止ガイドライン」を立てて、8月26日より例会を再開しました。

○例会時はソーシャルディスタンスを確保する。

○例会時マスク着用する。

○例会前には手洗い・アルコール除菌を実施する。

○例会前に検温をし、体調が十分でない場合は出席しない。

○例会は1時間以内を目安にする。

○飲食を伴う夜間例会は当面行わない。

○外部講師を招くことは当面しない。

○県外へ移動した場合は2週間、様子を見て出席する。

*帰省、通院等やむを得ない場合を除く

○ガバナー公式訪問・GTMについては感染拡大防止の観点から、ワクチン開発等の状況で感染拡大防止可能と判断できるまで、開催について保留とする。

8月26日の例会には、久しぶりに会員の皆さんの顔が見られて、そして皆さんとお話ができ「やはりロータリーっていいなー、例会っていいなー」と強く感じ、うれしさがこみ上げてきました。当クラブは人数がそんなに多くはない関係上、ラインのグループラインで全員が繋がっており、休会中もグループラインでコミュニケーションを皆さんとはかっておりましたが、やはり実際に例会が開催できることの喜びを強く感じました。今後もウイズコロナにおいて、例会中心に尾鷲ロータリークラブだからできることを会員の皆さんの意見をお聞きしながら、活動をしてまいりたいと思います。

コロナ禍のクラブ運営について

会長
畑中 知昭（郡上長良川RC）



コロナウイルス初期の段階は例会休会期間を設け完全休会とした後、SAA委員長の呼びかけによりライン例会として1か月間ほど仮の例会を行いました。

今期に入ってからからは通常の例会とし、食事についてはテイクアウトにより各自持ち帰りとしています。今後地域内において流行した場合は、ZOOMを利用した例会開催をできないかと思っています。ZOOMについてはGMTをZOOM開催としたことにより、全会員が利用できるようになったことにより、今後においても活用できることと思います。

青少年交換委員会・IBS秋期研修旅行

青少年交換委員会 委員長 平田 芳久(四日市RC)

去る令和2年10月14日から2泊3日の行程で、来日交換留学生を対象に『IBS秋期研修旅行』を実施しました。例年のIBS研修旅行は、春期及び夏期来日交換留学生の総勢10人程が参加し、日本の名所を巡りながら文化の違いを体験し、日本への理解を深めると共に、コミュニケーション能力の向上などを目的として実施しています。しかし本年度は、コロナ渦で多くの研修がWeb会議での開催となるなど、集合型研修の開催が難しい状況となっています。そのような状況下での研修旅行実施の是非につき、委員会で学生の安全を第一に議論を重ねました。

結論として、今年の1月に来日し、直後にコロナ渦に見舞われ外出自粛期間も長く、日本文化に触れる機会を無くした学生に少しでも機会を得て欲しいと、研修旅行を実施することとしました。

ロータリー青少年交換事業が中断し、帰国要請もあった中、日本に残る決断をした2名の学生と少人数での研修旅行となりました。幸い、少人数での研修旅行は「社会的距離」も確保され、また多くの見学施設は事前予約による少人数制が導入されていました。

初日の早朝に名古屋を出発し、広島平和記念資料館、厳島神社を見学、夕食にはお好み焼き作りを体験しました。

2日目は姫路城を見学した後大阪へ移動し、余った時間を利用して海遊館を訪れました。学生は最終日のUSJを愉しみ、夕刻帰路につき無事帰宅しました。

コロナ渦での研修旅行の実施に少なからず不安はありましたが、多くの施設でwithコロナが実践され、新しいライフスタイルを実感する研修旅行となりました。学生は、3日間の研修旅行で多くの日本文化に触れ、様々な体験をし、ロータリー青少年交換事業に参加したことに改めて喜びを感じたことと思います。残された数か月で更に日本を体験し、自身の夢の実現に向け成長して欲しいと思います。最後に、この研修旅行に際し寛大なご決断をいただきました釧田DG、岡田PG、浦田GEに感謝を申し上げます。



多治見西ロータリークラブ「世界ポリオデー街頭募金」

会長 佐藤 正
 幹事 関谷 泰久
 社会奉仕委員長 加藤真左子
 地区公共イメージ委員会委員 森田 宏治

多治見西ロータリークラブでは、世界ポリオデーの10月24日、多治見駅改札前においてポリオ根絶を目的とした募金活動とポリオについて広く市民に知っていただくための啓蒙活動を行いました。

この活動を行う事となったきっかけは、地区公共イメージ委員会が製作した、「公共イメージ向上マスク」200セットを購入した事で、クラブとしてどのようにこのマスクを活用することが一番適切なのか検討した結果、タイミング的に世界ポリオデーが近かったことで街頭で募金活動を行えば、コロナ禍における3密を回避しつつ、マスク製作の趣旨にも応えられると考え社会奉仕委員会を中心に実行に至りました。

当日は11歳から80歳までの会員とその家族あわせて16名による約1時間という小さな活動でしたが、57,000円という善意ある募金を集めることができました。

また、活動に参加したメンバーは各自購入した「END POLIO NOW」の赤いTシャツを着て街頭に立っていたことから、かなり目立った活動となりました。

ただ、コロナ禍における新生活スタイルに慣れてしまっているせい、例えばチラシを持って近づく事に抵抗を感じられたり、大きな声を出して募金を呼びかけることができなかつたりと難しい部分もありましたが、公共イメージ委員会製作のマスクを配布したことで、一度は受け取って通り過ぎた人が、戻ってきて募金をしてくれる人が何人もいて、マスク製作の趣旨であった、市民の皆さんにロータリーの活動を少しでも知っていただける貴重な活動になったと思います。

企画立案から1ヶ月を切った状況下での作業であったため、多治見駅への使用許可、地区事務所への啓蒙グッズ借用手配、ポリオについての啓蒙用のチラシ作成などかなりばたつきましたが、無事に終わらすことができ、参加した会員から「大変いい活動ができた」との声を多く聞くことができました。



岐阜加納ロータリークラブ「献血活動」・「感染予防対策活動」

会 長 小野 優
幹 事 平松 洋一
社会奉仕委員長 浅野 真
公共イメージ委員長 横山 雅行

岐阜加納ロータリークラブでは、令和2年11月3日、岐阜市正木のマーサ 21のフードコート外において、献血活動とロータリークラブは世界の感染症への対応を支援していることを伝える啓蒙活動を行いました。この活動に参加したロータリアンはクラブ作製の白いTシャツを身に纏い、街頭で献血へのお願いと新型コロナウイルス感染症の予防について声を挙げて活動しました。

地区公共イメージ委員会が作製したマスク 400セットを購入したことで、社会奉仕委員会が計画された献血活動にご参加いただいた方々に、それらのマスクを提供し、新型コロナウイルスから身を守るための感染症予防対策（正しい手洗いや3密を避ける方法）を理解していただくと共に、ロータリークラブが行っている事業について知っていただく目的で行いました。

献血活動では採血者は67名の方々の協力をいただきました。過去にも例のないくらい多数の参加者となりましたことは、天候にも恵まれ多くのロータリアンは終始大きな声を挙げての活動のお願いが市民の皆様へ届いた証拠であり、今回の献血活動では公共イメージアップができた大変良い活動となりました。



国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2020年10月分

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			前期末	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑名	桑名	1	38	0	38	0	0	0
	桑名西	4	33	0	35	0	2	0
	桑名中央	3	30	1	29	1	0	1
	桑名北	2	29	8	31	8	2	0
	グループ計(4)		130	9	133	9	4	1
四日市	四日市	4	90	1	93	2	6	3
	四日市北	2	21	5	24	5	3	0
	四日市西	4	68	4	74	4	6	0
	四日市南	4	39	4	39	4	0	0
	四日市東	3	37	0	37	0	0	0
	グループ計(5)		255	14	267	15	15	3
鈴鹿・亀山	鈴鹿	4	68	10	67	10	0	1
	鈴鹿西	4	36	7	36	7	1	1
	鈴鹿ベイ	3	13	0	13	0	0	0
	亀山	1	15	0	15	0	0	0
	鈴鹿シティ	4	64	3	66	3	2	0
グループ計(5)		196	20	197	20	3	2	
中勢・伊賀	津	4	64	0	65	0	1	0
	上野	4	37	2	37	2	0	0
	名張	3	35	1	35	1	0	0
	津南	4	46	2	45	2	0	1
	津北	5	48	3	51	4	3	0
	上野東	5	37	2	37	2	0	0
	久居	4	27	1	27	1	0	0
	名張中央	4	21	2	21	2	0	0
	グループ計(8)		315	13	318	14	4	1
松阪・東紀州	松阪	4	74	0	74	0	1	1
	松阪東	4	63	10	63	10	2	2
	熊野	2	32	5	32	5	0	0
	尾鷲	4	11	2	11	2	0	0
	松阪山桜	3	35	3	37	3	2	0
	グループ計(5)		215	20	217	20	5	3
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	3	56	0	56	0	0	0
	鳥羽	4	29	3	30	3	1	0
	伊勢南	4	44	4	46	4	2	0
	志摩	4	49	11	49	12	1	1
	伊勢中央	5	48	0	50	0	2	0
	伊勢度会	3	15	4	15	4	0	0
グループ計(6)		241	22	246	23	6	1	
三重県合計(33)		1,352	98	1,378	101	37	11	

■2019年10月(前年度)出席報告

	期首	月末	うち女性	増減
三重県合計(33)	1,405	1,431	103	26
岐阜県合計(42)	1,784	1,846	76	62
地区合計(75)	3,189	3,277	179	88

(注)グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			前期末	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜	5	74	0	83	1	11	2
	岐阜西	3	53	0	51	0	0	2
	岐阜長良川	4	47	0	48	0	1	0
	岐阜北	2	37	2	38	2	1	0
	岐阜中	3	30	1	30	1	0	0
	グループ計(5)		241	3	250	4	13	4
岐阜B	岐阜南	4	97	12	92	10	0	5
	岐阜東	4	49	2	52	2	3	0
	岐阜東南	4	42	0	39	0	0	3
	岐阜加納	4	76	3	79	3	5	2
	岐阜エトス	3	22	2	22	2	0	0
	岐阜城	3	19	1	19	1	0	0
グループ計(6)		305	20	303	18	8	10	
岐阜西濃	大垣	4	86	2	88	3	3	1
	大垣西	4	73	0	73	0	0	0
	本巣	3	27	0	31	0	4	0
	羽島	4	30	4	30	2	0	0
	不破	3	27	0	27	0	0	0
	大垣中	3	51	0	54	1	3	0
	大垣センチュリー	4	57	3	57	3	0	0
	岐阜淡墨	5	16	1	16	1	0	0
	岐阜サンリバー	3	16	4	16	3	0	0
グループ計(9)		383	14	392	13	10	1	
岐阜東濃	多治見	4	48	4	50	4	3	1
	中津川	3	70	2	74	2	4	0
	瑞浪	4	56	1	57	1	2	1
	恵那	4	47	1	49	2	2	0
	土岐	4	40	1	40	1	0	0
	多治見西	4	30	4	30	4	1	1
	中津川センター	3	53	1	55	1	2	0
	多治見リバーサイド	4	39	1	40	1	1	0
グループ計(8)		383	15	395	16	15	3	
東海北陸道	美濃	3	16	0	16	0	0	0
	各務原	2	24	1	24	1	0	0
	関	4	48	2	50	2	2	0
	郡上八幡	4	36	0	39	0	3	0
	関中央	3	33	0	32	0	0	1
	郡上長良川	4	32	5	32	5	0	0
	各務原かかみの	2	4	0	4	0	0	0
グループ計(7)		193	8	197	8	5	1	
濃飛	高山	4	38	0	41	0	5	2
	下呂	3	26	0	26	0	0	0
	高山西	4	36	2	37	2	2	1
	美濃加茂	4	37	8	38	8	1	0
	可児	3	37	1	35	1	0	2
	高山中央	3	58	5	58	5	1	1
グループ計(6)		232	16	235	16	9	6	
岐阜県合計(41)		1,737	76	1,772	75	60	25	
地区合計(74)		3,089	174	3,150	176	97	36	

会員動静報告 (敬称略)

2020年10月分

受章		入会会員					
鈴鹿西RC	伊勢南RC	四日市RC	四日市北RC	四日市北RC	四日市北RC	岐阜RC	岐阜長良川RC
							
大泉源之 旭日小綬章	橋本博文 藍綬褒章	坂井敏也 2020.10.22入会 電力供給	齋藤孝博 2020.10.6入会 レンタル業	石山 純 2020.10.6入会 福祉業	齋藤穰助 2020.10.6入会 建築業	鈴木 薫 2020.10.9入会 全国放送	郷 義徳 2020.10.10入会 クリーニング業

本巣RC	本巣RC	多治見RC	恵那RC	郡上八幡RC	高山RC	高山RC	高山西RC
							
内藤英之 2020.10.6入会 建築板金業	前田広行 2020.10.6入会 石材加工	稲垣達也 2020.10.28入会 建築設計	松井啓史 2020.10.13入会 消防設備業	村井裕孝 2020.10.1入会 自動車販売整備業	田口章吾 2020.10.1入会 電力供給	古瀬博康 2020.10.15入会 商業銀行	中島一成 2020.10.2入会 ホテル

高山西RC



堀 幸一郎
2020.10.2入会
事務機器販売

ガバナー月信10月・11月号 訂正とお詫び

ガバナー月信10・11月号におきまして、以下について誤りがありました。ここにお詫びして訂正させていただきます。

- ・P6 出席報告(女性会員数)
 - 羽島RC(誤) 4 → (正) 2
 - 岐阜サンリバーRC(誤) 4 → (正) 3
 - ※訂正後の女性会員数は以下のとおりです。
 - 10月号：岐阜県合計76名 地区合計176名
 - 11月号：岐阜県合計75名 地区合計176名
- ・P8 地区大会事務局電話番号
 - (誤) 0577-32-1116 → (正) 0577-32-1166

ガバナー月信表紙説明

乗鞍岳(のりくらだけ)は、飛騨山脈南部の長野県松本市と岐阜県高山市にまたがる剣ヶ峰(標高3,026m)を主峰とする山々の総称。山頂部のカルデラを構成する最高峰の剣ヶ峰、朝日岳などの8峰を含め、摩利支天岳、富士見岳など23の峰があり、高山市奥飛騨温泉郷、高山市丹生川町、高山市朝日町、高山市高根町、長野県松本市安曇にまたがる広大な裾野をもつ。

飛騨側の高山市街地などから大きな山容を望むことができ、親しまれてきた山である。

剣ヶ峰は、本州を太平洋側と日本海側に分ける分水界上の最高峰でもある。

出典：フリー百科事典「ウィキペディア(Wikipedia)」

コロナ禍の中でのロータリーの魅力

2020年12月号No.1

2020年は歴史的な1年になりました。東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に4,000万人のインバウンドで国内は賑わはずでした。新型コロナウィルスの出現によって目論見はもろくも崩れました。緊急事態宣言が出るということは誰も予想してなかったことです。「不要・不急」を避ける日常となり、人との距離は「ソーシャルディスタンス」を維持する毎日になりました。

そういう中で、ガバナーの皆さんは、エレクト時代の「PETS」「地区研修協議会」はじめ「公式訪問」「地区大会」などご苦労が絶えない年度になりました。クラブ会長の皆さんは、クラブ例会を中止せざるを得ない未経験の事態で面食したことでしょう。例会再開は感染対策を実行して行われています。多くのクラブでオンラインを活用し、中にはハイブリッドで実施しているクラブもあり、様々な対応をされています。

私は久しぶりの再会例会に出席した時に抱いた気持ちは「ロータリーはいいな」というものでした。人とのつながりに距離を置いた時期の後、ロータリーの仲間と出会い、語り合う時間を共有することの温もりに嬉しさを感じました。ロータリーの魅力は、人と集うことにより繋がりを持つということ。そこには多様な人々が集まる中、ロータリーの「超私の奉仕」という哲学を共有する安心感があります。ロータリーは「不要・不急」ではなく、「豊かさの存在」と実感しています。

コロナ禍の中でロータリーの魅力を高めるクラブ運営についてご提案したいと思います。

- ・例会卓話は、外部講師を呼びにくい中、会員卓話を中心だと思えます。是非ご自身のPR(仕事や趣味など)に活用しましょう。
- ・親睦活動は、飲食を伴う会合が困難です。アウトドアでのプログラムにしましょう。例えば、ゴルフ、野球、ハイキング、サイクリングなど如何でしょうか？
- ・奉仕活動もアウトドアで検討しましょう。青少年奉仕、国際奉仕、社会奉仕それぞれ知恵の出どころだと思えます。

「出席なければ親睦なし。親睦なければ奉仕なし」これは青森県のあるロータリークラブのスローガンです。例会が楽しく、親睦で友情が高まれば奉仕活動がより活発になると考えます。コロナに負けず、ロータリーの魅力を高めていき、会員の退会を防ぎ、新入会員を増やし、活力あるクラブにしたいものです。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐
庄司 尚史 (境港RC)

ロータリーのブランドを強化しよう。

2020年12月号No.2

今年7月の第一地域、第二地域、第三地域の合同による公共イメージ向上に関する、地区公共イメージ委員長を対象にしたアンケート調査を実施しました。「地区内のクラブの何%がブランドリソースセンターを利用していると思いますか」の問いに「10%~30%」と回答した地区がほとんどでした。ブランドリソースセンターのツールやテンプレートを使えば、ロータリー全体で一貫性を保ちながら、クラブや地区用にカスタマイズされた資料を作成できます。ロータリーの新しいデザインやイメージを取り入れた資料をつくるには、オンラインの「ブランドリソースセンター」がお勧めです。ブランドリソースセンターを利用するにはまず、MyROTARYへのログイン(初めてのの方はアカウント作成)が必要です。

多くのクラブや地区がもっと、ブランドリソースセンターを活用することで、最終的には、あらゆる媒体でロータリーの正しいビジュアルアイデンティティを一貫して使用することで、ロータリーの公共イメージやロータリーに対して人々が持つイメージが格段と良くなると思います。

ロータリーでは、2011年からロータリーの認知度を高めるためにブランドの構築に力を注いできました。その結果、ロータリーの認知度は全世界で60%から75%にアップしました。しかし、ロータリーがどんな団体なのか、どんな活動をしているのか、知らない人が多いことが最近の調査で分かりました。

地元でクラブのあることも、世界的なポリオ根絶活動についてもあまり認知されておりません。仲間を増やし、奉仕の輪を広げ、地域や世界により大きな貢献をしていくには、ロータリーの公共イメージを向上させる必要があります。

ロータリーへの理解を深めてもらうために、2017年に「世界を変える行動人」キャンペーンが始まりました。

- ・ロータリーとは何か
- ・ロータリアンとはどのような人びとか
- ・ロータリアンの活動はどのような成果をもたらしているのか
- ・ロータリーは他団体とどう違うのか

このキャンペーンは、さまざまな形の広告を通じて、「行動人」としてのロータリー会員の姿にスポットを当てるものです。

ロータリーのブランドは、ロータリーが「どのような団体か」を表すと同時に、「どのような団体でありたいか」を映し出すものです。ロータリーはさまざまな国や文化、職業のリーダーのネットワークであり、交流を通じてアイデアを広げ、世界中の地域社会で行動をしています。強いブランドがクラブにもたらすメリットには、ロータリーの活動に対する人びとの理解を深めることや、会員、ボランティア、協力団体、寄付者が増えるなど、また、ロータリーの認知度が高まり、会員の意欲が高まる、そして、ロータリーへの参加者の基盤が広がることなどです。ロータリーブランドを強化することは、人びとがクラブやプログラムを通じた経験、またはロータリーについて見たり聞いたりしたことや写真に基づいてロータリーを認識します。ロータリーブランドの強化を支えることは、会員一人ひとりの責務でもあります。即ち、全会員がロータリーブランドの力強い推進者になることです。

「世界を変える行動人」キャンペーンを推進するため、ブランドリソースセンターからのリソースや資料を利用することが、ロータリーのブランドを強化しクラブの活性化へとつながります。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター
山下 皓三 (鹿児島西RC)

2020-2021年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務局 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務局	〒506-0011 岐阜県高山市本町1丁目2 飛騨信用組合本町サテライト出張所3F FAX 0577-36-1488(共通) (ガバナー事務所) TEL 0577-32-2630 E-mail 2021@rid2630.jp (地区大会事務局) TEL 0577-32-1166 E-mail 2021taiikai@rid2630.jp	執務時間 10:00-16:00 (土・日・祝日 休務)